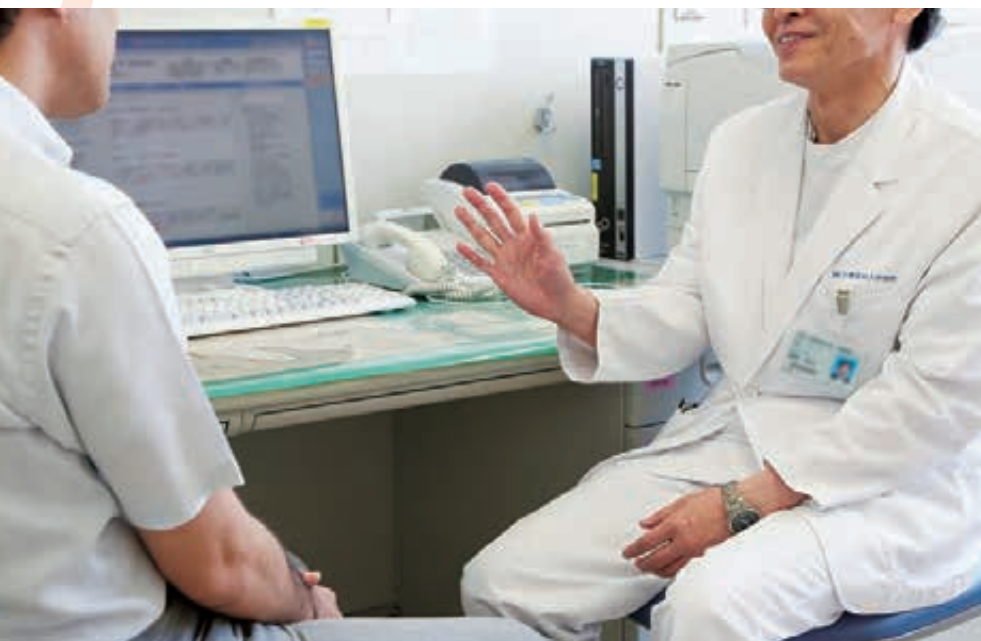


## はてなの缶詰

「セカンドオピニオン」を受けるときに大切なことって？



セカンドオピニオンとは、直訳すると「第二の意見」。つまり、主治医以外の専門医に治療法などの意見を求めることです。患者さん自身が病気について十分に理解し、納得したうえで治療を受けていただくための重要な制度です。

### 不安を取り除いてくれる 「セカンドオピニオン」

かかりつけ医の診療を受けている患者さんの中には「かかりつけ医の診断は正しいのだろうか?」「本当にこのまま治療を続けていて良くなるのだろうか?」などという不安を感じていらっしやる方もいます。セカンドオピニオンは、そのような不安を取り除くことができる制度です。

#### 【セカンドオピニオンの良いところ】

①かかりつけ医の診断や方針を他の医師に再確認してもらうことで、客観性が増し、納得して治療を受けることができる。

②かかりつけ医が提案している治療法以外に、新しい治療法の選択肢を得ることができる場合がある。

### 客観的な判断のために まずは「かかりつけ医」に相談を

自分の生活や家族のことまで知って相談に乗ってくれるのが、かかりつけ医です。そのように身近な医師だからこそ「その診断は正しいの?」とは面と向かって聞きにくいもの。

しかし、セカンドオピニオンを受けるためには、かかりつけ医の紹介状が必要となります。それは、セカンドオピニオン先の病院が、新たな検査や治療を行わず、かかりつけ医から提供を受けた検査資料などの範囲内で判断を行うことになるためです。かかりつけ医に内緒でセカンドオピニオンを受診すると、患者さんの言葉のみが情報源となるため、治療法などを客観的に判断することが難しくなり、セカンドオピニオンの良いところがなくなってしまうかもしれません。セカンドオピニオンを受ける際には、かかりつけ医を信頼して必ず事前に相談するようにはしましょう。

セカンドオピニオンを受けることは患者さんの権利です。

セカンドオピニオンについてほとんどの医師は積極的に捉えています。

かかりつけ医との信頼関係を崩すものではありませんのでご安心ください